

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	保育内容言葉の指導法	担当者名	成田恵子
授業の概要	幼児の言葉に関する現状や課題を踏まえた上で、『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』で示された領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深める。その上で、具体的な指導場面を想定して子どもの言葉を育む保育実践について考える。また、子どもの言葉の発達過程をDVDで視聴をさせ、講義による学びの定着を図る。				
科目の到達目標	・幼児の言葉に関する現状や課題を踏まえた上で、『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』で示された領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深める。 ・その上で、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。				
DPの観点	①聴く力(10) ②表現力(10) ⑥専門知識・技能((40) ⑦思考力(40)				
授業時間外学修（予習・復習）	・『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の領域「言葉」のねらいと内容を理解する。 ・演習課題の予習と復習 ・テキストの予習をする。				
フィードバックの方法	毎時間の演習課題（ワークシート）の内容について、解説を加えながら学びの定着を図る。				
単位認定の要件	「演習課題」、「保育実践の教材研究と実践」及び期末試験について評価の基準を満たすことを要件とする。				
評価の方法・割合（％）	各回の小課題（20％）、演習課題に関するグループ・全体討論、（20％）、期末試験（40％）、保育実践にむけての教材研究と実践（20％）				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			保育における「言葉」とは？-幼稚園の基本と領域「言葉」のねらい及び内容	⑥⑦	ワークシート
2			子どもの言葉の発達過程(1)-言葉を支える基盤と話し言葉の発達の道筋、DVD視聴	⑥⑦	ワークシート
3			子どもの言葉の発達過程(2)-書き言葉の発達の道筋と小学校における書き言葉	⑥⑦	ワークシート
4			言葉を育む環境構成と援助(1)-話す、聞く意欲を生む援助	⑥⑦	ワークシート
5			言葉を育む環境構成と援助(2)-生活に必要な言葉の習得を支える援助	⑥⑦	ワークシート
6			言葉を育む環境構成と援助(3)-言葉のすれ違いやうまく伝わらないもどかしさへの援助	①⑥⑦	ワークシート
7			言葉を豊かにする環境構成と援助(1)-言葉による伝え合いを育む援助	①⑥⑦	ワークシート
8			言葉を豊かにする環境構成と援助(2)-文字等で伝える楽しさを生みだす援助	⑥⑦	ワークシート
9			子どもの言葉を豊かにする教材:児童文化財の実際と保育の中での生かし方	⑥⑦	ワークシート
10			言葉に対する感覚を豊かにする実践:言葉遊びの実際と保育の中での生かし方	⑥	ワークシート
11			子どもの言葉を育む保育の実際-保育実践もしくは模擬保育に向けての教材研究-紙芝居の制作①	⑥	グループワーク
12			子どもの言葉を育む保育の実際-保育実践もしくは模擬保育に向けての教材研究-紙芝居の制作②	⑥	グループワーク
13			子どもの言葉を育む保育の実際-紙芝居の実践	②⑥	グループワーク
14			子どもの言葉を育む保育の評価と改善-保育実践もしくは模擬授業の振り返り	⑥⑦	グループワーク
15			まとめ	⑥⑦	ワークシート
期末試験			期末試験		

使用テキスト	駒井美智子編(2022)『保育をめざす人の保育内容「言葉」(みらい)
参考文献 参考URL	・戸田雅美(2020)『演習保育内容言葉-基礎的事項の理解と指導法-』建帛社 ・ http://www.igakueizou.co.jp (2005) 松村京子監修(2005)DVD「子どもの発達と支援-ことばの発達 vol4」、医学映像教育センター
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--